

日本観光研究学会・関西支部 ニュースレター 観光学

第13号 2024年度 (2025年3月発行)
www.kankoryoku.jp



中四国研修で父母ヶ浜（香川県三豊市）にて

1. 2024（令和6）年度関西支部活動をふりかえって（支部長 松田 充史）

2024年度、関西支部は第21回意見交換会（後援国土交通省近畿運輸局）を開催。このシンポジウムでは「関西の観光の可能性－ベスト・ツーリズム・ビレッジに注目して」と題し新しい観光のありかたについて議論しました。9月には中四国研修会「金毘羅さん門前町のリノベーション観光と三豊市のニューツーリズム観光」を香川県・琴平町・三豊市のご協力を得て、大変実りの多い研修となりました。また、地区懇話会としては、12月に開催された第39回日本観光研究学会全国大会シンポジウム「大阪・関西万博を観光から考える」へ大阪市長のメッセージをいただき、万博前年の関西から情報発信をいたしました。さらに、観光学研究部会（12月）、観光サロン（2月）と勉強会をおこないました。その他、NPO観光力推進ネットワーク関西の講座や学生発表を学術面から応援いたしました。みなさまの参加がこれらの活動を支えています。ぜひ支部活動のご理解ご支援をよろしくお願いいたします。

2. 支部活動①：第21回「関西から観光立国・立圏を考える」意見交換会の開催

2024年6月22日（土）13:00～16:00に、阪南大学あべのハルカスキャンパスにて開催しました。国土交通省近畿運輸局観光部長の藤原幸嗣氏による「関西における観光政策の現状」の特別講演と、国連世界観光機関(UN Tourism)駐日事務所プロジェクトコーディネーターの吉田順子氏による「UN Tourism ベスト・ツーリズム・ビレッジの取組について」の基調講演の後、「ベスト・ツーリズム・ビレッジと関西の観光」をテーマに、パネルディスカッションを行いました。吉田氏に加えて、高御堂和華氏（一般社団法人南丹市美山観光まちづくり協会事務局長）、吉本幸史氏（一般社団法人飛鳥観光協会事務局長）、原田弘之（日本観光研究学会関西支部幹事）をパネリストに、堀内史朗（日本観光研究学会関西支部幹事）をコーディネーターに、ベストツーリズムビレッジに認定された美山町と、アップグレードプログラムに認定された明日香村の取組紹介を踏まえて活発な議論を行いました。



藤原 幸嗣氏



吉田 順子氏



高御堂 和華氏



吉本 幸史氏

3. 支部活動②：中四国研修会の開催

2024年9月9日～10日の2日間にわたり、「金毘羅さん門前町のリノベーション観光と三豊市のニューツーリズム観光」をテーマに、香川県琴平町と三豊市を訪問し、中四国研修を行いました。

1日目は金毘羅宮を参拝した後、門前町の空き家・空き店舗等を活用して、地元バス会社や移住者、旅館経営者等が、カフェやゲストハウス、アーティスト・イン・レジデンス、クラフトビールバー、文房具屋等にリノベーションすることにより、新しい来訪者が入ることにより、伝統的な観光地ににぎわいが再生されている状況について学びました。

2日目は、三豊市を訪れ、三豊市観光交流局のスタッフから、日本のウユニ塩湖と呼ばれる「父母ヶ浜」の発見と上手な発信等によって、普通のまちから持続可能な観光のまちへに変貌を遂げた三豊市の観光戦略について講義を受けました。その後、父母ヶ浜の現地を清掃ボランティアの方に案内いただくとともに、ニューヨークタイムズに「行くべきエリア」として取り上げられた「紫雲出山」の視察を行いました。地方都市における活性化や集客発信戦略、オーバーツーリズム対策など、とても学びの多い研修会となりました。



4. 支部活動③：地区懇話会の開催

地区懇話会は、自治体と連携する地域大会ですが、今年度は、大阪成蹊大学で日本観光研究会全国大会が開催されることから、そのシンポジウムと兼ねて実施しました。



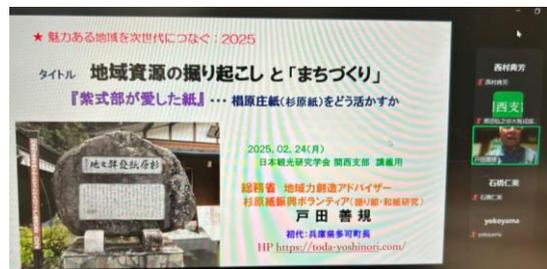
2024年12月7日に、「大阪・関西万博を観光から考える」をテーマに、下記のパネリスト（登壇順）により、話題提供とディスカッションを行いました。川村泰正氏（公益社団法人2025年日本国際博覧会協会広報・プロモーション局地域・観光部 審議役、藤原幸嗣氏（国土交通省 近畿運輸局 観光部長）、宮本倫明氏（共創チャレンジ「関西・歴史文化首都フォーラム」推進事務局長/イベント学会理事/株式会社Landa 代表取締役社長）、塩見正成氏（公益財団法人大阪観光局観光事業部長）。

5. 支部活動④：観光学研究部会の開催

2024年12月23日に、講師として奥野圭太郎氏（京都産業大学専任講師）を迎え、「コンテンツツーリズムと地方自治体の意図～『どうする家康』大河ドラマ館を中心に～」をテーマに、オンラインにより開催しました。

6. 支部活動⑤：観光サロンの開催

2025年2月24日に、講師として戸田善規氏（総務省地域力創造アドバイザー。前・兵庫県多可町長）を迎え、「紫式部が愛した紙『桐原庄紙』を通したまちづくり」をテーマに、オンラインにより開催しました。



7. 支部活動⑥：関西支部総会及び幹事会の開催

関西支部運営のための定例会議として、2024年6月22日に関西支部総会のほか、毎月1回定期的に幹事会を、15名の幹事（役員）が参加して、オンラインあるいは対面にて開催しました。

8. 支部活動⑦：NPO 法人「観光力推進ネットワーク・関西」の支援と協働

(1) NPO 法人「観光力推進ネットワーク・関西」本年度を振り返って（理事長挨拶）高根沢 均

2024 年度は、パリ五輪での日本選手団の活躍や大谷翔平の 50-50 達成など華々しいニュースの一方で、円安や金利の上昇、物価高や令和の米騒動といった経済の変動、そして夏の記録的な暑さと猛烈な台風、冬には 10 年に 1 度の大寒波といった極端な気候の変動など、人々の日常生活が大きく揺さぶられた 1 年でした。さらに、社会のさまざまな分野に AI の導入が進行し、これまでの常識が通用しなくなるような新しい時代の到来を実感する 1 年でもありました。

観光においても同様に急速な変革が進んでいます。日本では、訪日インバウンド観光の急激な拡大や 2025 年の大阪万博の開幕を機に、観光の経済効果を高める取り組みが活発化する一方で、オーバーツーリズムの課題も再燃しています。また世界的にも、社会の価値観の変化と AI をはじめとする技術革新が、観光の新しいアイデアやビジネスの誕生を促進しており、変革は加速度的に進行していくことでしょう。

こうした状況のなかで本 NPO では、今年度も「地域創造のための観光マネジメント講座」と城崎での宿泊研修・インターンシップ体験を実施し、多様な視点から観光地域活性化の手法について学ぶ機会を提供いたしました。さらに、学生連絡協議会では、毎年恒例の秋の歴史文化体験を奈良で実施したほか、今年度は新たに海外からの留学生との交流企画を実施するなど、活発な活動を展開していただきました。さらに 2 月には、関西の観光系大学の学生研究発表会を阪南大学あべのハルカスキャンパスで開催し、大学の垣根を超えて互いに 1 年間の研究や学びの経験を共有し、刺激を受ける良い機会となりました。

2025 年度も引き続き、変革が進む観光分野に関する研究の成果を地域や社会のよりよい発展に還元し、また次世代の観光を支える学生たちの成長の支援に力を入れていきたいと思っております。

(2) 第 19 回「地域創造のための観光マネジメント講座」の開催

「地域創造のための観光マネジメント」について、全く知識や経験のない方でも取り組める内容を中心に 3 日間にわたり 14 講座を実施しました。

【会場】大阪公立大学文化交流センター

2025 年 1 月 25 日（土）

- ①原 一樹 | サステナブルツーリズムの潮流
- ②五嶋 俊彦 | 酒蔵ツーリズム
- ③久保 由加里 | 地域資源を活かす歩く観光
- ④堀内 史朗 | 地方移住者のコミュニティ
- ⑤石橋 仁美 | 近代建築物の活用とガイド
- ⑥高根沢 均 | 建築リノベーションと観光

2025 年 2 月 8 日（土）

- ⑦原田 弘之 | 農と食のツーリズム
- ⑧望月 徹 | 地域を価値づけるまちづくり
- ⑨米盛 安奈 | アクセシブルツーリズム
- ⑩西村 典芳 | ウエルネスツーリズム
- ⑪前田 武彦 | 観光と動物
- ⑫松田 充史 | 大阪・関西万博を観光から考える

2025 年 2 月 22 日（土）

- ⑬中川 渉 | 地域×JTB = 新たな価値創造
- ⑭受講生による地域創造型観光プロジェクトに関するプレゼンテーションとディスカッション

(3) 観光カネット・学生連絡協議会(学連協)の応援

1) 学連協・地域連携プロジェクト「城崎温泉見学+宿泊体験実習」「インターンシップ in 城崎」

城崎温泉関係人口構築委員会との共催で「城崎温泉見学+宿泊体験実習」ならび「城崎インターンシップ in 城崎」を NPO 法人観光力推進ネットワーク・関西と学生連絡協議会が募集を行い実施しました。

- ①「城崎温泉見学+宿泊体験実習」2024 年 7 月 6 日（土）～7 日（日）1 泊 2 日 参加人数 19 名
1 日目 午前 | バスで城崎温泉へ。到着後、城崎温泉の見学。宿泊先チェックイン後、フリータイム（外湯巡りなど各自で研修）。夜 | 旅館の皆様と交流会・マッチング会（夕食）2 日目 午前 | 各グループに分かれて課題の調査 午後 | フリータイム 夕方 | バスにて大阪へ。



②「インターンシップ in 城崎」2024年8月19日(月)～23日(金) 参加人数7名 1日目 午前|バスで城崎温泉へ出発。到着後、宿へ移動 午後|お仕事体験 2日目 お仕事体験 3日目 終日|城崎一日観光 4日目 午前|灯籠流しイベント準備 午後|若手社員との交流会 夜|灯籠流しイベント 5日目 午前|発表準備 午後|報告会 夕方|バスで大阪へ



2)歴史文化体験「東大寺拝観と鹿人形の絵付け体験」

2024年10月12日(土)、本年度の歴史文化体験として「東大寺拝観と鹿人形の絵付け体験」を実施しました。大阪商業大学から2名、大阪成蹊大学・短期大学から4名、京都外国語大学から2名、神戸国際大学から3名、阪南大学から2名の計13名が



参加しました。近鉄奈良駅に集合し、東大寺拝観と奈良公園周辺の散策の後、昼食を取りました。午後は春日大社の近くの春日野窯にて、「鹿人形の絵付け体験」を行いました。

訪日観光客の多さを体感しつつ、改めて東大寺の「大仏様」を拝観し日本の歴史への理解を深め、「絵付け体験」を通して「体験型観光」を実地で学ぶことができました。

3)国際交流イベント

2024年11月30日(土)、国際交流イベント「大阪の街歩きとたこ焼きパーティ」を実施しました。大阪成蹊大学・短期大学から4名、京都外国語大学から9名、神戸国際大学から2名、阪南大学から2名の計17名(中国、ロシア、イタリア、インドネシア、ミャンマーの留学生を含む)が参加しました。

午前中はコースに分かれ街歩きを行い、訪日客で賑わう大阪市内を満喫し、午後は「たこ焼きパーティ」を行い、共に食事を作り親睦を深めつつ、各国の言語や文化について自由に歓談を行いました。



4)学連協・第11回学生研究発表会

【日時】2025年2月17日(月) 11:45～18:00
【会場】阪南大学あべのハルカスキャンパス
【概要】参加は13チーム。詳細はHPをご覧ください。【<https://www.kankoryoku-npo.jp/>】



日本観光研究学会・関西支部(JITR-Kansai) ニュースレター『観光学』第13号(2024年度)。発行:2025年3月
事務局:大阪成蹊大学 国際観光学部 533-0007 大阪市東淀川区相川3丁目10-62 info@kankoryoku.jp